

No-20160328

2016年3月28日
四国情報管理センター株式会社

SDN を活用したネットワーク構築事業を開始

地方公共団体や民間企業の業務システム開発を専門とする四国情報管理センター株式会社（代表取締役社長・中城一、本社・高知県高知市一ツ橋町 1-36）は、現状のネットワークにおける課題解決と運用性向上を図る新しい取り組みとして、ネットワーク全体をソフトウェアで制御し、ネットワークの動的制御や機器の一元的管理を行う次世代技術 SDN（Software-Defined Networking）を活用したネットワーク構築事業を開始いたしました。

弊社がこのたびネットワーク事業に導入する SDN は、ネットワーク機器を制御する SDN コントローラと対応するスイッチを用いてソフトウェア上でネットワークの動的制御や機器の一元的管理を行うという次世代のネットワーク技術です。

弊社が取り扱う NEC 製の SDN コントローラ「UNIVERGE PF シリーズ」は、優れた機能性と操作性でネットワークの最適化を実現します。既に弊社でも同製品を自社データセンターに導入して運用を開始しており、様々なサービスの基盤環境として順次適用を行っています。また、今後は自社内での活用実績を活かし、中核市や中核病院などネットワーク構成が大規模かつ複雑で SDN 導入のメリットが大きいお客様に対してもソリューションの提案を進めてまいります。

SDN 導入における最大のメリットは、ネットワークの運用を効率化し、管理コストを低減することです。これまで高度な知識が必要で専門の業者に委託しなければならなかったネットワークの追加や設定も GUI から直感的に操作して簡単に変更することができるようになります。通信の流れも GUI から監視することが可能で障害発生時における原因特定の迅速化にも期待できます。

また、従来はネットワークの追加にあわせて機器も追加購入しなければなりませんでした。SDN 導入後は仮想的に機器を追加できるため、ネットワーク構築にかかる工数や調達期間を大幅に短縮し、ミッションクリティカルな業務環境の基盤として活躍します。

さらに、SDN のネットワーク環境下では脅威が検知されると同時に対象の機器と接続されているネットワーク機器のポートを自動的にシャットダウンさせるなど初動対応を自動化することができますので、対応遅れによる被害リスクを最小化することができます。

四国情報管理センター株式会社は、ネットワーク構築をはじめ、今後も企業や自治体の業務環境を支える事業を通して、お客様の業務効率化に貢献するとともに、さらなる事業展開を目指してまいります。

【発表内容に関する問い合わせ】

四国情報管理センター株式会社 総務部

システム管理課 梶原雄一郎

TEL 088-825-3571 FAX 088-825-3587

[参考：SDN 導入イメージ]

